

2018年11月27日

報道関係各位

水戸芸術館音楽部門

～300人を超える市民の歌声が師走の空に響く～

## 水戸の街に響け！300人の《第九》2018 ご取材のお願い

“師走の水戸の風物詩”として、多くの市民に親しまれている「水戸の街に響け！300人の《第九》」は、1999年に開始し、今年で18回目を迎えます（2000年に第2回、2003年の第3回以降は毎年開催）。

故 畑中良輔・元水戸芸術館音楽部門芸術総監督発案による本企画は、水戸市民を中心としたコーラスが主体となって、エレクトーン2台ほかが務めるオーケストラ・パート、地元に関わりの深い歌手を中心とした独唱者とともに、水戸芸術館広場でベートーヴェンの《第九》（第4楽章のみ）を演奏し、街に元気と活力を与えよう、というものです。このような編成で、しかも屋外で開催される《第九》としては、全国でも最大規模のイベントとして、毎年各方面からご注目いただいております。

今年のコーラスも、460名を超える方が参加する予定です（最年少：4歳、最年長86歳）。茨城県合唱連盟スタッフによる指導のもと、9月から4ヶ月の練習を重ねて本番にのぞみます。

大作曲家ベートーヴェンが人類の理想のあり方を希求して作曲した《第九》。市民が皆で声を合わせ、平和で希望に満ちた新年が迎えられるよう、心を込めて演奏いたします。

本公演につきまして、貴紙にてご取材、ご紹介くださいますようお願いいたします。

### 【公演概要】

**日時：2018年12月9日[日] 1回目 12:00開演 / 2回目 13:30開演**

**会場：水戸芸術館広場（悪天候の場合、コンサートホールATM）**

**\*入場無料**

曲目：ベートーヴェン：交響曲 第9番 ニ短調 作品125 より 第4楽章

企画：畑中良輔

指揮：打越孝裕

独唱：結城滋子（ソプラノ）、山本彩子（アルト）、  
倉石 真（テノール）、駒田敏章（バリトン）

エレクトーン：小林由佳、八谷奈津美

ピアノ：中村真由美、中村佳代（リスト編曲による2台のピアノ版を演奏）

ティンパニ：山地章子

合唱：一般公募による参加者、茨城県合唱連盟、水戸市合唱連盟

合唱指導：打越孝裕、堤 五郎（以上、茨城県合唱連盟）

練習ピアノ：井上 修、清水美和、近森紀江、福田真由美、矢敷貴子

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団、茨城県合唱連盟  
水戸市合唱連盟

◆事前リハーサルをプレスの皆様へ公開いたします

**12月2日（日）16:00～17:00**

会場：水戸芸術館コンサートホールATM



＜過去の公演の様子＞

■公演内容のお問い合わせ 水戸芸術館音楽部門 担当：関根・鴻巣 Tel.029-227-8118

■ご取材のお問い合わせ 水戸芸術館広報係 担当：鴨志田 Tel.029-227-8111

〒310-0063 水戸市五軒町1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>